

問1 大都市の近くで、消費者のニーズに合わせて野菜や花などを栽培する農業形態を何という？

1. 園芸農業 2. 近郊農業 3. 酪農 4. 促成栽培

問2 潮の満ち引きの差が非常に大きく、干潮時に広大な砂泥の平原が現れる地形を何という？

1. ラグーン 2. 干潟 3. リアス海岸 4. 砂州

問3 かつて九州地方において、アジアとの外交や防衛の拠点として設置された官庁を何という？

1. 平安京 2. 太宰府 3. 多賀城 4. 平城宮

問4 熊本県で、豊富な地下水を活用して工場が多く集まっている、集積回路などの電子部品を何という？

1. 半導体 2. 石油化学 3. 鉄鋼 4. 自動車

問5 長崎県などに見られる、海岸線が複雑に入り組んだ地形で、天然の良港が多く作られる地形を何という？

1. 砂浜海岸 2. 珊瑚礁海岸 3. リアス海岸 4. 海岸平野

問6 沖縄県に存在した、独自の文化を築き上げた王国を何という？

1. 鎌倉幕府 2. 琉球王国 3. 大和朝廷 4. 平氏政権

問7 阿蘇山周辺に見られる、火山活動によってつくられた土壌を何という？

1. 火砕流 2. 溶岩 3. 砂丘 4. 火山灰

問8 沖縄県のように一年を通して気温が高く、冬でも温暖な気候区分を何という？

1. 乾燥帯 2. 亜熱帯 3. 温帯 4. 冷帯

問9 南九州の広範囲に及ぶシラス台地を形成した、自然の大きな現象を何という？

1. 火山活動 2. 地盤沈下 3. 風化作用 4. 地殻変動

問10 1914年の大規模な噴火により、桜島が地続きになった半島を何という？

1. 大隅半島 2. 能登半島 3. 房総半島 4. 紀伊半島

問11 大分県の山間部で見られる、急な斜面を切り開いて作られた階段状の田んぼを何という？

1. 扇状地 2. 干拓地 3. 段丘 4. 棚田

問12 大分市を中心とする海岸部で見られる、鉄鋼業や石油化学工業が集まった工業地域のことを何という？

1. 京葉工業地域 2. 大分臨海工業地域 3. 水島臨海工業地域 4. 鹿島臨海工業地域

問13 沖縄県で盛んに栽培されている、温暖な気候を好む果物を何という？

1. さとうきび 2. 茶 3. パイナップル 4. マンゴー

問14 大分県で活用されている、地下の熱を利用して電気を作る発電方法を何という？

1. 水力発電 2. 地熱発電 3. 太陽光発電 4. 火力発電

問15 佐賀県の有田町を中心に生産され、日本で初めて焼かれたと言われる伝統的な焼き物を何という？

1. 萩焼 2. 九谷焼 3. 有田焼 4. 備前焼

問16 九州南部に広がる、水はけが良すぎて稲作には不向きな火山灰質の土地で行われている農業を何という？

1. 林業 2. 養殖業 3. 稲作 4. 畑作

答え合わせ・解説

問1	答え 2 近郊農業	大都市近郊で、鮮度が重要な野菜や花などを生産する農業形態です。輸送コストを抑えられるだけでなく、需要に応じた生産計画が立てやすく、効率的な販売ができる利点があります。長崎県などでも、温暖な気候を活かして都市部向けに生産が行われています。
問2	答え 2 干潟	このようにして現れる地形を干潟と呼びます。干潟は河川から運ばれてくる有機物が多く含まれるため、非常に豊かな栄養分があります。そのため、魚介類や貝類、渡り鳥など多くの生物にとって重要な生息・繁殖場所となっています。
問3	答え 2 太宰府	現在の福岡県筑紫野市付近に置かれた官庁で、西海道（九州）を統括する行政機能と、海外からの使節を迎える外交機能、そして九州の防衛機能を持っていました。特に「遠の朝廷（とおのみかど）」とも呼ばれ、非常に重要な役割を果たしました。
問4	答え 1 半導体	半導体は、現代のスマートフォンや自動車、コンピュータなどの家電製品に欠かせない電子部品です。熊本県には大手メーカーの工場や関連施設が集中しており、シリコンアイランドと呼ばれる九州の中でも特に重要な拠点となっています。
問5	答え 3 リアス海岸	長崎県の海岸で見られる特徴的な地形であり、入り江が深く入り組んでいます。山が海に落ち込んでいるため平地は少ないですが、入り江は波が穏やかであるため、古くから天然の良港として船の停泊に利用されてきました。
問6	答え 2 琉球王国	琉球王国は、中国（明・清）や東南アジア、日本との間で活発な中継貿易を行い、繁栄しました。このため、中国文化や日本文化の影響を受けつつも、独自の建築様式や芸術、音楽、食文化を発展させました。首里城はその象徴的な存在です。
問7	答え 4 火山灰	これらは火山灰と呼ばれ、堆積すると土壌となります。阿蘇山周辺の広大な土地には、この火山灰が厚く堆積した層が広がっています。火山灰土壌は水はけが非常に良いという特徴がありますが、一方で養分を保持しにくいいため、古くは肥料を工夫するなどの努力が必要でした。
問8	答え 2 亜熱帯	亜熱帯は熱帯と温帯の中間に位置する気候帯です。沖縄県では、この温暖な気候を利用して、パイナップルやさとうきびなどの熱帯・亜熱帯性作物の栽培が行われています。冬でも霜が降りにくいいため、冬野菜の出荷なども盛んです。
問9	答え 1 火山活動	南九州のシラス台地は、数十万年前から数万年前にかけて発生した、極めて大規模な火山活動によってもたらされました。その際、地下のマグマが噴き出し、火砕流として広い範囲を覆い尽くしました。この火砕流の噴出物が固まり、長い期間の浸食を経て、現在の特徴的な台地地形が完成しました。
問10	答え 1 大隅半島	1914年（大正3年）に起きた大噴火では、凄まじい量の溶岩が流出しました。この溶岩流によって、それまで海峡であった部分が埋め立てられ、桜島は東側に位置する大隅半島と物理的に繋がりました。これにより桜島は島ではなくなった経緯があります。
問11	答え 4 棚田	棚田は、階段状に配置された水田であり、雨水を貯めて地下水を守ったり、土砂崩れを防いだりする多面的な機能を持っています。大分県の山間部では、この棚田を活用して米作りが行われています。
問12	答え 2 大分臨海工業地域	大分臨海工業地域は、広大な用地と港湾設備を活かし、鉄鋼、石油化学、造船などの重厚長大産業が中心となっています。この工業地域の発展により、大分県の経済基盤が大きく強化されました。
問13	答え 3 パイナップル	パイナップルは、寒さに弱いため、国内では主に沖縄県などの温暖な地域で栽培されています。特に石垣島などの離島を含め、広大な畑で生産され、ブランド化も進んでいます。温暖な気候は、糖度を高く保つために不可欠です。
問14	答え 2 地熱発電	地熱発電は、地下から取り出した蒸気力でタービンを回して発電する仕組みです。環境に優しく、天候に左右されずに安定して発電できる再生可能エネルギーとして注目されています。
問15	答え 3 有田焼	日本で初めて磁器が焼かれた場所として知られる有田で生産される焼き物です。透き通るような白磁に華やかな絵付けが施されたものが多く、海外にも多く輸出された歴史を持ちます。伊万里港から出荷されたため、「伊万里焼」とも呼ばれます。
問16	答え 4 畑作	この地域では、その土地の性質を活かして、水不足の影響を受けにくいサツマイモ、ダイコン、お茶などの栽培が盛んに行われています。これを総称して畑作と呼びます。